

佐賀県 伊万里市 森林環境譲与税の活用について

■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和4年度	令和5年度	計	令和5年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	38,342,637	27,579,267	65,921,904	49%	①公共施設の木質化への活用 ②今後増大していく、私有林森林整備への活用
譲与額（円）	98,601,000	34,749,000	133,350,000		

■今後の実施計画

1) 私有林の森林整備への活用

森林整備面積は今後も増大していく見込みである。次年度以降の私有林の森林整備に備えて基金へ積み立てを行う。

2) 公共施設の木造・木質化への活用

今後建築予定である公共施設に佐賀県産木材を使用し、木造化および内装木質化を図っていくため積み立てを行う。

子ども達が森林や林業について学び、木に触れ親しむことで、森林・林業・木材に対して興味を持ってもらうことを目的に、管内農林事務所と地元森林組合の協力のもと、木育教室を開催した。

□ 事業内容

木育教室の開催

- 森林・林業・環境教育に関する座学
- 万能台を製作する木工教室

【事業費】125千円（全額譲与税）

講師謝金、万能台材料費、釘・ボンド等消耗品費

【実績】令和5年度は市内3小学校で実施
計84名の児童が参加



（座学の様子）

□ 工夫・留意した点

- ・座学の講師は管内農林事務所に依頼し、佐賀県全体の林業情勢について、小学生にも分かりやすく説明していただいた。
マスコットキャラクターの着ぐるみも登場し、好評だった。
- ・木工教室では、県産材ヒノキを使用した万能台の製作を実施。
森林組合から指導者を派遣していただき、釘とかなづちを使用して1人1つずつ作製した。

□ 取組の効果

- ・釘とかなづちを使い、自分の手で作品を完成させることにより、木材を手にとり加工する経験を得ることができた。



（万能台製作の様子）

- 所有者の管理不十分による荒廃森林の増加が課題となっている。
- このため、令和5年度において森林経営管理制度を活用した私有林の森林整備（切り捨て間伐）を実施した。

□ 事業内容

1 集積計画に基づく森林整備を実施

集積計画を策定した森林において、森林整備（切捨て間伐）を行った。

【事業費】20,817千円（全額譲与税）

【実績】間伐面積 26.48ha

2 意向調査及び集積計画作成の実施

地元の林業事業体に委託して、意向調査、現地調査および集積計画を作成し、同意取得や標準地調査を行った。

【事業費】1,901千円（全額譲与税）

【実績】集積計画同意取得面積 79.09ha

□ 取組の背景

- ・所有者の管理不十分による荒廃森林の増加
- ・上記理由による災害時の倒木等被害の拡大防止

□ 取組の効果

- ・間伐を行うことにより、災害に強い、手入れされた豊かな森林へと寄与することが出来た。
- ・意向調査を行うことにより、所有者による森林経営管理の必要性を理解してもらうことが出来た。



（間伐前）



（間伐後）



（説明会の様子）